

神 示

世界は^{時代}今 ^{今日}大きく流れを変え あるべき姿^{真実}に戻らんとしている

時代の力を受ける人類は 真実「真理」に気付きを得ることで

^{変化}流れに乗って 「夢」ある人生を歩んでゆける

信者に問う

家族で「教え」を学び 「真理」で関わる家庭を築く 努力^{悟り}はいかに

この^{信念}思いが 「運命」に重なる人生を導いてゆく

社会は 人類が創造したのではない

自然の流れ 「時代の運命」に導かれて ^{今日}今を迎えているだけ

^{今日}今 時代の変化が起きている

その「真実」と 向かう「方向」を正しく知った者^{人々}が

時代の力^{運命}を受けて 「開運」かなう人生を歩んでゆける

信者に ^{今日}今なすべきことを教える

ゆえに 心「神」^{神魂}に開いて実践されよ

神が使者を通し ^{社会}世に示す「教え」を学び

その時 「今」あるべき「心の姿」を知って

「道」^{正道}を行く心^{信念}を欠かぬこと

時代の変化が大きく変わろうとも 「正道」を^歩ゆく信者は

神の手の中 「運命」の力が引き出され 悔いを残さぬ出会いが持てる

^{今日}今を生きる人^{人々}の心は 人生に迷い 自ら悩みを生み出し 深めている

人類が歩み 固めた歴史から 学び 築いた知識 経験に 「真理」は少ない

時代の変化に対応できずに 時代の変化にのまれ 苦しむ^{真実}現実^{真実}は

「人生の真理」 その不思議が見えていないために 起きたこと

社会の変化は まだ続く

変化に乗って悔いなき人生を歩みきるため

「教え」を学び 「真理」に気付き 悟りを深める信者を目指せよ

時代は大きく流れを変えている

新たな年を迎え、神は世の動きを見据えて、今必要なことをご指導くださいました。神示に沿って生きたなら、流れに乗って安泰な日々が送れるからです。

今、世界は、大きく流れを変えつつあります。それは、混沌こんとんとした社会から、据わりの良い安定した状態に戻ろうとしているのです。しかも、大きく変わるとあるからには、世界を動かすほどの事象を通して変化が進んでいくでしょう。

こうした流れを生み出すのが、時代の運命です。人や物の運命とは違い、時代の運命にはとても大きな力があります。ですから、そこに生まれる変化に、生き方を順応させていくことが大切です。

真実「真理」に気付きを得る

誰もが、時代の運命の力を受けて生きています。ですから、社会の動きを見極め、変化に合わせるところに、夢のある毎日が送れます。夢とは、自身の力を発

揮し、社会に役立とうとする意欲です。

それには、真実、すなわち社会の現実を、真理、物の道理に照らして見詰めてみることです。すると、善きにつけ悪あしきにつけ、起きている現実の生じた訳が分かります。その中で、自分はどう生きるべきかにも気付けます。社会の流れに乗って、不安や迷いのない、意欲にあふれた毎日を過ごしていけるのです。

「真理」で関わる家庭を築く

神は、家族で教えを学び、生活に反映できた家庭になっているかと問われました。これは、神が繰り返し説かれてきたことです。それでもなお重ねて示されるのは、仕合せの基となる重要事であるとともに、十二分にはできていない人が多からずです。それが実現できるように、努力を重ねることが必要です。

家族で教えに触れ、一人一人が自分の置かれた任と立場を知って、力を生かす努力をします。それができれば、運命に重なる人生が歩めます。分、器に見

合うから、生きがい味わえ、人生を楽しく生きられます。

時代の運命を受けて人は生きる

政治や経済など、人の力が社会を生み出しているわけではありません。時代の運命の力に導かれて、今日があります。特に今は、違う方向に進んだ社会を正すため、時代の変革が起きているのです。

そうした現実、真実に気付き、向かう方向を的確につかむことが重要です。それには、神から学ぶ以外ありません。全てを見通し、表される神示に触れると、社会の正しい姿がつかめ、時代の運命と重なって、どのような流れにもまれません。心を乱すこともなく、全てと調和し、開運への道を歩んでいけるのです。

「教え」を学び 正道を行く

変化の激しい現代にあつて、神が使者を通して表される神示から、あるべき心構えを学べるのは、この上もなく有り難いことです。あふれる知識、情報にのみ

れては、時々刻々と移る変化に流されてしまいます。神に心を開いて素直な心で学び、心の軸に据えるのです。

人生には、さまざまな巡り合わせがあります。人、物との出会いもあれば、思わぬ現実に遭遇することもあります。その時々に関心自身の心がどのように動くかで、先々は大きく違ってきます。正道と邪道に分かれていくのです。

ですから、教えを身に付け、折々に的確な行動を取ることが重要となります。

人と出会った時、選択を迫られた時、摩擦が生じた時など、さまざまな場面で求められる判断の基準を、確かな教えに置くのです。そうでないと、現実のまれてしまいます。神は、正道を歩もうとする信念を持つように促されています。

正道を歩むと 出会いが生きる

教えを心の支えに正道を歩む人は、誰とも正しい関わりが持て、自らの力を存分に生かした、悔いを残さない人間関係が築けるものです。人を憎んだり、恨ん

だり、責めたりと、そのような感覚がなくなり、円満な関係が広がります。

なぜ、神がこのようにお教えくださるかといえば、今を生きる多くの人々は、出会いを大切にしているか、気に入らずです。何を見ても、聞いても、気に入らなければ、批判し、否定します。そのようなところに、縁が生かせず、悩みを生み出し、深める原因があります。

歴史に「真理」は少ない

人類は、長い歴史を積み重ねてきています。そこには、自然の摂理から生まれた現実もあれば、人間の欲心が生み出した事象も少なくありません。むしろ、人の心に残るのは、ほとんどが後者です。そこから生まれた知識や経験に真理は少ないと、神は言い切られています。

時代の運命の力は、その都度、調和する方向へと働いています。ところが、多くの人々は、そうした現実を知らず、旧態にこだわり、変化にのまれて、苦しむ結果を招いてきました。それは、人生の

真理、仕組みが見えないからです。

この世の真理は、不思議なものです。季節が自然と巡るように、それぞれの運命の力に導かれて回っています。人工作は、通用しません。人間も、運命に見合えば、無理をせずとも不思議と良さが生きて、満ち足りた人生が歩めます。しかし、欲に負け、運命を無視して、分、器を越えるから、悩みを生むのです。

気付き 悟りを深める信者に

社会は、まだまだ変化し、安定に向かいつつも、そこには至らない状態が続きます。だからこそ、流れに乗って悔いのない歩みとできるように、教えを身に付けるのです。学ぶ中から気付き、悟りを深め、生きる心の軸に据えることです。

時代の流れは、止まりません。常に、本来あるべき調和の取れた状態に戻ろうと、時代の運命が動いています。だからこそ、凝り固まった価値観、固定観念から脱却して、気持ち切り替え、正しく生きる自分を目指すのです。

「時代は大きく流れを変えている」

神 示

「教え」を学び

社会の姿 向かう方向を 正しくつかむ信者であれ

社会に生きる人は 何を信じ 心の支えにしているのか

その時 その場の考え 思いに共感し

真理なき知識を頼って 自ら悩み 迷う

人が求める自由 平等も

「真理」が悟れて 生かされる思想と気付くべし

人生の支え 「真理」が見えない今

神の手の中 時代の力が動いている

変化に心のみ込まれ 悔いる思いを

「心の道」に残すことがないように

神は使者を通して

「真実」の姿と あるべき「真理」を世に示す

信者は 「心の道」「心の基」に表される

神示「真理」を家族で学び

家庭の姿に「生かす」努力が必要

この思いを強く持つほど

信者の心は安定し 迷いは消えてゆく

社会のあるべき真実は

運命が重なり 補い合って 回る姿にある

自然は 人々に寄り添い

住みやすい環境 豊かな恵み 潤いを与えるもの

人が造る社会は

自然環境に調和して

いよいよ成果を生むと気付くべし

時代は、大きく流れを変えています。この流れにのまれないように、神示を通して教えを学び、社会がどの方向に向かつて変化しているのかを的確につかむことが大切です。それができないと、今の社会にあふれる知識、情報に気持ち振り乱され、迷ってしまうからです。

神の教えを知らない人々は、何を頼りに生きているのでしょうか。目にし、耳にする知識に心を奪われ、思いを乱し、流れにのまがちです。しかし、社会にあふれる知識は、真理、道理にかなうものは少なく、悩み、迷いを生み出します。

自由、平等と訴えても、正しい考え方がつかめず、道を欠く人がたくさんいます。自由とあって、何をしてもよいわけではありません。人は、他者のために自身の運命の力を、思いのままに使うことができます。それが、正しい自由です。

体力、体形など、誰もが同一であることが平等ではなく、等しく世に役立つ運命を与えられている事実こそ、平等です。そのように認識がずれるから、言

葉の上だけ、むなしく主張するのです。

人生を支える物事の道理、真理がつかめない現代にあって、時代の運命の力が働き、社会のあるべき方向へ導こうとしています。そうした現実を知り、人生に悔いを残すことがないように、神は使者を通して、社会に起きている真実と、本来あるべき正しい生き方を世に示されています。

必要なのは、神のご指導、神示を家族で学び、家庭生活に生かす努力です。その信念を強く持つほど、心の動きが安定し、迷いは消えていきます。

神が造られたこの世の中は、互いの運命の力が重なり合い、補い合って、円満に回るようにできています。それが、社会のあるべき姿、仕組みです。

それは、まさに自然界と同じです。自然は、互いに恵み合っています。人間にも、豊かな恵みを与えてくれます。人の社会も、まずは自分が考え方、生き方を修正し、全てと調和してこそ成果があると、認識しなくてはいけないのです。